



第46回防衛問題セミナー



北海道防衛局は、令和5年6月26日（月）共済ホール（札幌市）において、防衛省防衛政策局防衛政策課 飯島 秀俊課長 と 陸上自衛隊北部方面総監部幕僚副長 木之田 進 陸将補を講師にお迎えし、札幌市、札幌市自衛隊協力会及び札幌商工会議所の後援並びに自衛隊札幌地方協力本部の協力をいただき、第46回防衛問題セミナーを開催いたしました。

講演に先立ち、石倉北海道防衛局長（当時）から開催挨拶を行いました。



主催者挨拶
石倉 三良 局長（当時）

講演内容について

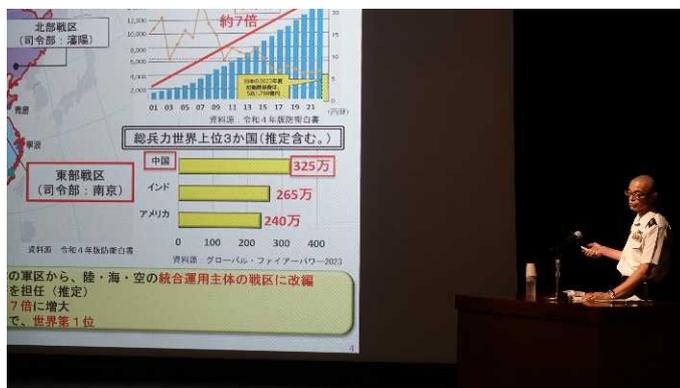


第1部講演 飯島 秀俊 課長（当時）

第1部では、飯島課長（当時）から『新たな国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画』と題し、戦後、最も厳しく複雑な安全保障環境の中で、我が国の安全保障政策・防衛政策を実践面から大きく転換する、いわゆる戦略三文書について御講演いただきました。

第2部講演 木之田 進 陸将補

第2部では、木之田陸将補から『北海道の新たな防衛体制について』と題し、北海道を取り巻く周辺国（中国、北朝鮮、ロシア）の情勢を含む安全保障環境や、北部方面隊の任務及び装備品等についてご講演いただきました。



今回のセミナーは、集客型での開催となり約140名の方々にご来場いただきました。皆様からは「初めてセミナーに参加したが、多数の参加者がいて関心の多さに驚いた」、「報道等ではなかなか知り得ない内容で、とても勉強になった」、「新たな国家安全保障戦略等が具体的に理解できた。北海道の新たな防衛体制については、身近なこともあり、良く理解できた」などのご意見をいただきました。



当局では、防衛政策や防衛省・自衛隊の活動等について、皆様にご理解・ご協力いただけますよう、今後も防衛問題セミナーを開催してまいります。